

事務事業評価における総括

部 局 名	総務部	記入責任者	秋津 伸一
評価について（現状と課題）			
【事業の達成状況について（現状）】 <p>総務部の業務計画に位置づけられた重点事業のうち、市民自治推進課の「春の市民まつり開催事業」については、来場者数が目標値に達しなかったためC評価としています。</p> <p>総務部の業務計画に位置づけられた事業では、54 事業のうち 50 事業で指標を達成し、成果が上がったためS評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、成果は上がったものの目標を達成できずA評価としたものが3 事業、成果は今後見込めるものの目標を達成できずC評価としたものが1 事業あることから、施策目標の達成に向け、事業の推進方法の見直しを検討する必要もあると考えます。</p>			
【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】 <p>C評価とした事業のうち、職員課の「非常勤職員への通勤費用相当額の費用弁償の支給」については、28 年度は 29 年度に向けた非常勤職員に係る条例改正等の準備を行い、支給開始を 29 年度からとしました。また、「事業所内保育事業」については、総合的な判断から市が主体となった整備は見送り、豊かな長寿社会に向けたまちづくりに関するプロジェクト会議の中で検討することとしました。</p> <p>市民自治推進課の「春の市民まつり開催事業」については、当日の荒天により、来場者数が目標値に達しなかったためと分析しており、一定の評価はできるものと考えます。また、「コミュニティ施設の整備事業（湘北）」については、庁内関係課との情報共有会議の開催について目標 4 回に対し 3 回の開催でした。ただし、必要により適宜担当者間で情報交換、情報共有を行っており、今後の事業の進展につながるものと考えます。</p> <p>小出支所の「施設改修工事」については、28 年度の設計委託は見送ることとし、また、「棺台車の更新整備」については、経年劣化が進行し、更新時期が来ているものの、他の業務との調整により、老朽度を勘案し、見送ることとなりました。なお、支所の耐震及び施設改修工事については、29 年度に設計委託、30 年度工事を予定しています。また、斎場については、平成 5 年開場以来 24 年が経過しており、施設及び設備ともに老朽化しているため、改修及び修繕を計画的に行っていきます。</p>			
今後の方向性			
【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】 <p>順調に推移している事業については引き続き進めていくとともに、進捗に遅れのある事業については推進方法を見直します。</p> <p>また、働きかたの見直しを推進する取組として、全ての事業において業務プロセスの見える化及び最適化を行い、行政が直営で実施するよりも効果的である業務については、積極的に外部委託を実施するとともに、直営で行う必要のある業務についても、課内の業務配分の見直しを行うとともに、再任用職員や非常勤職員、臨時職員等の活用の可能性を検討することで、仕事のダイエットを推進します。</p>			